

今、続々と義捐金が集まってきております。

また、関係団体からも J C の活動に信頼を寄せていただき、義捐金の協力をいただくような支持の声が増えていることと、今後の活動についても J C だけにとどまらず関係団体との連携による活動に拡大しつつあることを報告いたします。大変ありがたい関係、環境が構築中であることは、すなわち被災地におられる皆様に対しての最大の支援ができることを意味しており、今後中長期的な活動に対しての光明であります。

しかしながら、メンバーの中には少なからずこの震災の影響を受けていて、企業存続の危機に瀕しているとの情報も入っています。今、我々がまず大事にしないといけない事は、自身の企業の足元を固めていくこと、そして何があっても経済活動を止めてはならない事であると感じています。被災地の皆様が今日を生きていくことに対して必死に努力していることと同等に経済をこれ以上衰退させない努力をすることが我々の根本的な責任でもあります。

こんな時だからこそ、経済活動も積極的に進めてまいりましょう。

また、報告といたしましては、沖縄地区協議会の年間の計画を無期限の凍結とさせていただき旨を役員会の中で決定させていただきました。今後のスケジュールにつきましては改めてご案内いたします。そして、前回の会長メッセージでお知らせしました義捐金の第 1 回目として 300 万円の振り込みを実行したことと、沖縄への受け入れの計画が着々と進んでいること、併せて被災地への人的支援のための派遣を計画中であることもお伝えしておきます。

日本 J C が誕生して 60 年。

「新日本の再建は我々青年の仕事である」

この創始の精神を胸に日々を過ごしてください。

我々は被災地支援を通して、次代につなぐ新たな「国づくり」をしているのであります。活動の内容は変われど、「尊敬される日本」につなげる運動をしていることには何ら変化はありません。

そして、「尊敬される日本」に向かうために今こそ、「尊敬される沖縄」になるべく一人ひとりがしっかりと生きていきましょう。

なぜなら、「尊敬される沖縄」とはあなた自身なのです。